

2011年 3月号

感動県政 あさのめ新聞

埼玉県議会活動報告

11.03.XX.2019

今、民主党所属県議会議員であること。



「できない」と思ったことは一度もない。「きっとどうにかすれば出来るはずだ」いつもそう思っている。

中途失明した全盲の中学校教師を現場に戻す提案は不可能と言われた。しかしどうだろう。彼は秩父の中学校で堂々たる素晴らしい授業をしている。生徒は差別を拒む心を持つことだろう。不可能ではなかったのだ。

ある自民党議員から「県議会議員が領収証貼りだってよ」と私は笑われたことがある。しかし政務調査費の使途全面公開は、三年前に民主党系県議団の執念で実現した。しかも使い切りが原則だったこの調査費を私たちは余ったものは返還してきた(08年度約3800万。自民は今も全額使い切り)。

約50年ぶりに歴史の扉をこじ開けたのだ。

「政権の交代は歴史的に意義のあること。」私は今でも確信し、民主党に所属している。けれども駅前での政治活動「このままではダメだ」と多くも、民主党は力を与えていただけてきたはずだ。そのことを忘れてはいけない。

今、民主党所属であることは、国政の混乱でとても辛いことだ。しかし、私は人の輪の中に入り、多くのご意見を真正面から受け、これからも歩いていきたい。守旧政治と対決し、不可能を打破し、改革の成果をこつこつ積み重ねてきた。私でなければできなかったこと、私たちがでなければやり抜けなかったことを、強い意思でこれからもこつこつ積み重ねていきたい。

浅野目 義英

浅野目 義英 ◆プロフィール◆

- ◆昭和33年5月27日東京生。◆山形県米沢市育ち。◆4歳の時埼玉県へ。◆法政大学社会学部卒。
- ◆小学校教師を経る。◆隣接の上尾市で全国最年少の25歳で市議初当選。
- ◆市議4期(25~41歳)。◆37歳で全国最年少議長。◆上尾市長選挙次点敗退。
- ◆その後予備校講師、武正公一衆議院議員政策秘書など、政治浪人7年余を経て、埼玉県議会議員当選。◆妻 智子との間に一男一女。



ご支援ありがとうございます!
 2007年4月 → 2011年3月
 県議としての任期ももう少しで終わろうとしています。

カー一杯働かせていただきました!

「おほよございませう!」
 県政報告

武正代議士 国会報告会で「県政報告」

年に一度、大規模な「県政報告会」

県議会での活動を様々な場所でキチンと報告させて頂きました。

2007年 2008年 2009年 2010年

●ご案内●

初当選から4年間、ほぼ毎日記した政治活動報告、日々感じたこと、想いなどをまとめ発刊しました。

埼玉県議会議員 そのありのままの姿

『四年間。』

あさのめ活動日記

浅野目 義英著

お問い合わせは下記までどうぞ

人の輪の中に入る

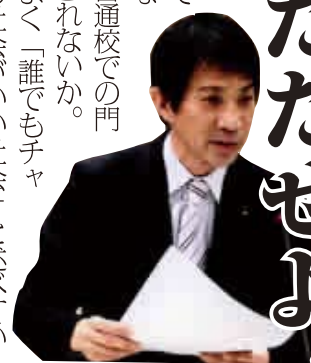
民主党・無所属の会 浦和区支部(あさのめ事務所) 〒330-0043 さいたま市浦和区大東1-11-1-501
 TEL 048-883-6560 FAX 048-881-0527 e-mail info@asanome.com

www.asanome.com

携帯サイト → www.asanome.com/mobile/
 twitter で [y_asanome](https://twitter.com/y_asanome) をフォローしましょう!

福祉教育

光を失った教師 再び現場にたたせよ



あさのめ 人にとり光を失うというこ... 光を失った教師が再び現場にたたせよ

人。とか 盲学校で の勤務にな りがち。普通校での門 戸を広げられないか。

両眼とも網膜剥離で右目視力0、左目 は光を感じるだけ。だが普通校で再び教 壇に立ちたいとの希望を持っている。

「知事答弁には感動があった。感動」... 長瀬中で「復帰」した この先生の歩みは本に もなり感動を呼んだ



地方財政

海外資本家や外資の県債購入 格付取得で応えよ

あさのめ 海外投資家や外資系企業が、 地方自治体が資金の調達のために発行し ている地方債の購入に向け、極めて意欲 的に名乗りを上げている。

借金しろ」と言っている訳でも、これか ら言う訳でもない。資金を作るなら金を 借りるなら、資金調達先を分散させたら どうかこういった手法の起債は埼玉県 の 知名度アップにつながるのではないかと。

玉県債の購入に行動すべきだと思っている。 県債の信用格付取得せよ。 説明会など開き、県債を売り込むことによっ て、 外資系企業の埼玉県進出にもつながって くる可能性も出てくると思う。

「安定的な資金調達のため... 県債の信用格付取得は、県にとり 標準装備となるはず」とあさのめ さんが訴えているのはとても納得で きました。



二人の若者(星野聖弥さん、田中優希君)に、あさのめの議会活動を外部評価していただきました。

No.1

防災

埼玉県庁 地震防災の指揮所としての機能 早急に固めよ!



あさのめ M7級地震が首都圏で30年以 内に発生する可能性70%。政府は18パタ ーンの首都直下型地震を想定。被害のレ ベルをシミュレーションしている。埼玉 県で死者が出るもの8パターンもある。 しかもHP上にごコメントされている。 「荒川沿岸部は軟弱地盤が広範囲に分布。 地震動が地表で増幅されやすい。液状化 発生しやすい。同程度地震が他の地域で 起きた場合に比べ大きな被害が想定一 県民の命と財産を守り抜くため地震対策 を完全なものとする議論を待たない。 しかし、他の都道府県に比し対策にかな り差をつけられている。そもそも地震対策 の県の真剣な意気込みが伝わっていない。

トップには、多くの都道府県に見られる 「防災・震災情報のバナー」貼られてい ない。普段でも一日平均約1万6千件 年間約576万件ものアクセスがあるこ のHPに、いったん危機となれば、安全情報 を求め膨大なアクセスが殺到するはず。 バナーを貼り県民に防災情報の門戸を広 げろ。

「トータルタワー」... 一ト強度2500t。中性化8.1mm。 これらをコネクトする「渡り廊下」三本 の連絡橋の耐震強度は調査していないの では。この部分の耐震強度を明らかにす べし。

埼玉県は本当に安全か? 単なる幻想、意識改革必要。 「埼玉県は災害が少なく安全」とよく語 られる。しかし、科学的データも根拠も 全く聞いたことがない。

あさのめ ②本庁舎は築55年、耐震強度 は0.16。0.3未満で倒壊の可能性が 高くなる。これで防災の中枢機能果たせ るのか。対策の指揮所であるはずの埼玉 県庁本庁舎の耐震能力は著しく低い。 耐震強度算定の基礎データである、コ ンクリート強度または中性化の数値明 らかに。

あさのめ ⑤分散タコ足で動線考えると、 連絡調整や情報収集に時間がかかり過ぎ るはず。加えて、第2庁舎の各部屋など には、内部のパーティションがひしゃげ、 積み上げである荷物がひっくり返ること によく予想できる。指揮所と呼ぶにふさわ しい災害対策本部を一方所に置き機能を 集中させるべきではないのか。



防災センター 平成23年3月、浦和区に完成する。

実現!!

実現!!

実現!!